

2023年9月22日

各 位

本店所在地 東京都港区六本木一丁目6番1号
会 社 名 SBIホールディングス株式会社
(コード番号8473 東証プライム)
代 表 者 代表取締役 会長 兼 社長 北 尾 吉 孝
問い合わせ先 常務執行役員 経理・財務担当 勝 地 英 之
電 話 番 号 0 3 - 6 2 2 9 - 0 1 0 0 (代 表)

**当社子会社のSBIファイナンシャルサービシーズ株式会社と
株式会社ダブルスタンダードとの資本業務提携深化に関するお知らせ**

当社の100%子会社で金融サービス事業の中間持株会社であるSBIファイナンシャルサービシーズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:高村正人 以下「SBIファイナンシャルサービシーズ」)は、株式会社ダブルスタンダード(本社:東京都港区、代表取締役:清水康裕、以下「ダブルスタンダード」)と2019年12月26日付けで、資本業務提携契約書を締結しておりますが、本日、資本業務提携の内容をさらに深化させることで合意しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業務提携深化の目的およびその内容

ダブルスタンダードは、独自のデータクレンジング基盤技術を活用した企業向けビッグデータの生成・提供を実施し、データ生成過程で培った技術を活用して様々な企業との取組の知見を活かすことで、企業と新たなサービスを創出する企画開発プロバイダーです。当社グループとは株式会社SBI証券を中心に当社グループ各社の業務システム開発・運用支援を通じ様々なソリューションを提供しております。

一方、当社グループは、創業以来「顧客中心主義」に基づくお客さま本位の商品・サービスの提供に注力しており、株式会社SBI証券では2023年3月27日にリリースの通り、国内初となる証券総合口座1,000万口座達成し、さらに本年9月30日から開始する国内株式の売買手数料無料化や来年1月からの新NISAの開始を見据えた顧客基盤の拡充に努めております。

このような中で、当社グループでは顧客基盤の拡大に伴う各種データ量の増加やそれらを有効活用するためのデータ整理等が課題となってきたことから、長年の信頼関係を築いてきたダブルスタンダードのデータクレンジング技術等の活用を強化するなどの以下の取り組みをさらに推進することで、当社グループ各社で生じる様々な課題解決を図るとともに、ダブルスタンダードのさらなる成長実現も目指してまいります。

- (1) ダブルスタンダードのデータクレンジング技術を活用した、当社グループ各社の顧客データ整理とマーケティング活動への活用推進

- (2) e-KYCで培った認証システムのノウハウを活用した、マイナンバーカードを用いた公的個人認証サービスの当社グループ内外への導入促進
- (3) 当社子会社を通じた、全国の地域金融機関に対するダブルスタンダードのDXサービスの紹介

2. 株式追加取得の内容

SBIファイナンシャルサービスーズは、2019年12月26日付 にダブルスタンダードとの間で資本業務提携契約を締結し、2023年6月30日現在、ダブルスタンダード株式を 2,532,900株（議決権所有比率（注）：18.67%）保有しております。

今回、資本業務提携深化による連携強化の一環として市場において167,000株を追加で取得することにいたしました。なお、追加取得後の当社グループの議決権所有比率は19.90%となる予定です。

（注）議決権所有比率の算出に際しては、ダブルスタンダードが2023年8月14日に公表した「第12期 第1四半期報告書」に記載された2023年6月30日現在の発行済株式総数（13,580,000株）から、2023年6月30日現在の自己株式（900株）と単元未満株式（10,700株）を控除した株式数13,568,400株を発行会社の単元株式数100株で除算した135,684を総議決個数として算出しております。

3. 業績への影響

本件による当社連結業績への影響は軽微であると考えております。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126